

授業科目	*ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）					実務家教員担当科目	○
単位	2	履修	必修	開講年次	1	開講時期	後期
担当教員	今村 浩司						
授業概要	<p>現代社会の福祉ニーズは、多様化する社会と変化の激しい時代の中で、複雑化しているのが現状となっています。それに対応する福祉専門職（ソーシャルワーカー）である社会福祉士や精神保健福祉士等は、幅広い視野と多面的な視点等の確かな力が求められています。</p> <p>そこで本講では、医療機関や矯正施設においてソーシャルワークの実践活動を展開してきた実務家教員として、1年前期に開講した「ソーシャルワークの基盤と専門職」の内容を踏まえた上で、相談援助（ソーシャルワーク）を実践してきた実務家教員として、現場において福祉専門職（ソーシャルワーカー）としての社会福祉士や精神保健福祉士等に求められる役割、倫理、倫理、連携等を、具体的な事例を提供して解説します。さらには、よりリアリティ感を高めるため、社会福祉士専門職能団体等から外部講師を招聘して、社会福祉専門職の現状と魅力を伝えてもらう予定です。</p> <p>本講の理解度を確認するために、講義内において、確認テスト（小テスト）を行います。</p> <p>なお、授業の運営方法については、対面講義が困難な場合等は、ウェブ等を使用しての講義等に変更して実施することもあります。</p>						
授業形態	対面授業	授業方法	グループワーク				

学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	1. 社会福祉士、精神保健福祉士の役割と意義について、説明できる。 2. 相談援助に係る専門職と専門職倫理について、説明できる。 3. 総合的かつ包括的な援助と多職種連携について、説明できる。
理想的レベル	1. 社会福祉士、精神保健福祉士の役割と意義について、理解したうえで説明できる。 2. 相談援助に係る専門職と専門職倫理について、理解したうえで説明できる。 3. 総合的かつ包括的な援助と多職種連携について、理解したうえで説明できる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	50%	
小テスト	20%	
レポート	10%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	0	
レポート外の提出物	0	
その他	20%	講義中の発言・質問・参加姿勢等

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	-	ナンバリング	WE21206J
学習課題（予習・復習）								1回の目安時間（時間）	
講義範囲のテキスト事前及び事後通読								4	

授業計画

第1回	<p>オリエンテーション 相談援助（ソーシャルワーク）の理念 権利擁護が必要とされる背景および権利擁護の定義について解説する。</p>
第2回	<p>相談援助（ソーシャルワーク）の理念② クライエントの尊厳と自己決定、自立支援、エンパワメント、ストレンジス視点について解説する。</p>
第3回	<p>相談援助（ソーシャルワーク）の理念③ ノーマライゼーションと社会的包摶について解説する。（外部講師）</p>
第4回	<p>相談援助（ソーシャルワーク）における権利擁護の意義 相談援助における権利擁護の概念と範囲について解説する。</p>
第5回	<p>専門職倫理 専門職倫理の概念および倫理綱領について解説する。</p>
第6回	<p>倫理的ジレンマ ソーシャルワーク実践における倫理的ジレンマについて解説する。</p>
第7回	<p>総合的かつ包括的な援助① ジェネラリストの視点に基づく総合的かつ包括的な援助の意義について解説する。</p>
第8回	<p>総合的かつ包括的な援助② 地域を基盤としたソーシャルワークについて解説する。</p>
第9回	<p>総合的かつ包括的な援助③ 総合的かつ包括的な相談援助の基礎理論について事例を用いて解説する。</p>
第10回	<p>相談援助（ソーシャルワーク）に係る専門職の概念と範囲① 相談援助専門職の概念および福祉行政における専門職について解説する。（外部講師）</p>
第11回	<p>相談援助（ソーシャルワーク）に係る専門職の概念と範囲② 民間施設・機関における専門職および諸外国の動向について解説する。</p>
第12回	<p>総合的かつ包括的な相談援助（ソーシャルワーク）における専門的機能① 総合的かつ包括的な相談援助における専門的機能の展開について事例を用いて解説する</p>
第13回	<p>総合的かつ包括的な相談援助（ソーシャルワーク）における専門的機能② 総合的かつ包括的な相談援助における専門的機能の展開について事例を用いて解説する</p>
第14回	<p>総合的かつ包括的な相談援助（ソーシャルワーク）における専門的機能③及び総まとめ ジェネラリストの視点に基づく多職種連携について事例を用いて解説する。</p>
第15回	<p>ソーシャルワークの基盤と専門職の講義全体についての総まとめ及び質疑応答。</p>
テキスト	<p>最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 1 1 「ソーシャルワークの基盤と専門職」 [共通・社会専門] 中央法規（最新版） 「コメディカルのための社会福祉概論」（第4版）鬼崎信義、本郷秀和編 講談社</p>
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<p>「社会保障」川村匡由編著 ミネルヴァ書房 本学図書館の担当教員（今村）の指定図書。 月刊福祉や福祉新聞など。 講義の進行状況に応じて、適時紹介します。</p>
課題に対するフィードバックの方法	<p>試験、小テスト、レポート、講義貢献度、積極性、参加意欲も併せて評価します。その他については、具体的な実践場面を想定した実技指導（ロールプレイ等）やグループワークで評価し、その内容をフィードバックします。</p>

学生へのメッセージ・コメント

社会福祉士や精神保健福祉士の社会福祉専門職の具体的イメージを深めるために、公益社団法人日本社会福祉士会や、公益社団法人日本精神保健福祉士協会のウェブサイトをあらかじめ閲覧しておいてください。

社会福祉専門職の役割や業務は、計り知れないほど奥が深いものです。先ずは、社会福祉士や精神保健福祉士等の、「社会福祉専門職になる」という、何よりも強い心構えを持って講義に臨んでください。

授業で学んだ内容については、ノート等を活用して整理して下さい。また、毎回講義の導入部分で、社会福祉に関するトピックスを提供しますので、新聞やインターネット、文献等を用いて必ず理解を深めて下さい。

